

曲亭馬琴の伝奇小説『椿説弓張月』 世界初 翻訳に挑戦



沖縄・久高島でくわくくわ
ヴァレリオさん

「個性豊かなキャラクターがたくさん登場する冒険譚。馬琴の壮大な発想で展開され、わくわくする物語です」と『弓張月』の魅力を話す。

イタリア留学生ヴァレリオさん

「研究深めた」

日本語を学んで13年になるイタリアの留学生ヴァレリオ・リッチさん(32歳)は、曲亭馬琴の伝奇小説『椿説弓張月』のイタリア語への翻訳に取り組んでいる。平安時代末期の英雄・源為朝の一代記である『弓張月』は、前後、続、拾遺、残の全5編からなる長編。ヴァレリオさんは2年間の日本留学で前編の翻訳を終えた。

「個性豊かなキャラクターがたくさん登場する冒険譚。馬琴の壮大な発想で展開され、わくわくする物語です」と『弓張月』の魅力を話す。

長期交換留学生の8人と高橋裕センター長(前列右端)



18年度長期交換留学生に8人

- 2018年度の長期交換留学生及び交換留学奨学生(第1期)に8人が決まった。1月20日、生田キャンパスで留学許可書交付式が行われ、高橋裕国際交流センター長から留学許可書が手渡された。
- 留学先と期間、氏名、学部・学年は次の通り。(敬称略)
 - 上海大学(中国) 2月～19年1月
 - 田村真昇(部経済3)
 - 西北大学(中国) 2月～19年1月
 - △新谷咲太(経済2)
 - △リヨン政治学院(フランス) 2月～19年1月
 - △竺々下菜奈(法2)
 - △山田智紀(法2)
 - △ワイカト大学(ニュージーランド) 2月～19年11月
 - △副島陸(経済2)
 - △北崎拓之(法3)
 - 檀国大学(韓国) 2月～12月
 - △嶋田紗奈(経済2)
 - △鎌田春風(文2)
 - △マルティン・ルター大
 - 学ハレ・ウィッテンベルク(ドイツ) 3月～19年2月

目指す。同小説は他言語の翻訳本は存在していないので、完成したら快挙になる。「日本での研究を生かすのはこれから。息切れしないようマイペースで続けよう」と笑顔で決意を示した。

「興味を持ったところでも行った」というヴァレリオさん。2年間の留学中、研究以外の思いもたくさんできた。伊勢原で乗馬を体験。上高地から穂高、槍ヶ岳を縦走し北アルプスを満喫した。『弓張月』後編に出てくる沖繩を訪ね、離島久高島で沖繩方言に初めて触れた。

残念なのは日本の学生と触れあうチャンスが少なかったこと。「懇親会をやろうと誘っても、みな予定がいっぱい。かなり前に約束しないと実現しない。イタリアでは考えられないことです」

経済学部の専門科目「学外特別研修」の発表会が12月9日、生田キャンパスであった。

学外特別研修は実習体験(インターンシップ)を通じて、社会を見る目を養うことを目的としている。通年科目で、前期に仕事論などを学び、夏期休暇中の1～2週間、企業や地方自治体などで実務を体験。後期は研修体験をまとめ発表する。

本年度は2、3年次生19人が履修。発表会では、一人一人が研修内容や成果を報告した。

コンサルティング会社(都千代田区)で研修した佐仲丈太郎さん(3年次)は調査業務に当たった。過去の資料を読み、最新のデータを集め分析

経済学部学外特別研修発表会

就労体験の成果を報告



一人一人が研修内容や成果を報告

をする作業を通じて、責とができる実感した。任の大切さを痛感。「今まで仕事に対する不安が取り除かれた」と話した。ほかの学生もインターンシップを通じて、「自分の得手不得手を確認できた」「就職活動や将来に向けての具体的なビジョンが描けるようになった」と報告した。

受け入れ先企業の担当者も聴講し、「発表はどれも分かりやすくまとめられており、社会でも通用する」と称賛。「自分がやっていることが、社会にどのような価値を生み出すのか、普段から考えてほしい」と呼びかけた。

体育祭 歓声響く



笑顔の参加者＝総合体育館

12月9日、生田キャンパス総合体育館で1チーム約80人が参加して第52回体育祭が開催された。

体育会学生と一般学生の体的な差をなくすためにオリジナル競技で行われる。今回は2人1組になってソフトボールを体で挟みゴールを目指すボールサンドリレーと、テニスやラグビーなど6種類のボールからランダムに選んだボールをシュートするランダムフリースローの2種目の総合得点で優勝を競った。

ボールサンドリレーでは、コツをつかむのに各チーム苦戦したが、トーナメントが進むごとに白熱した争いとなった。女子学生が高得点を獲得できる特別ルールを設けたランダムフリースロー。普段使い慣れないボ

高大連携聴講生修了式 高校生5人に証書授与



2017年度高大連携聴講生修了式が1月20日、生田キャンパスで行われた。半期または1年間の正課授業を聴講した5人の修了生に対して、高大連携連絡協議会の吉田雅明座長(経済学部教授)がねぎらいの言葉を述べた後、中野育修了生は全員3年生で、「知らない言葉が多く、正しい知識を身につけようと本を読むようになった」「マーケティングや商品開発が身近になり、専大で学びを深めた」という意欲が高まった。大学の講義を体験した感想や大学生活に向けた意欲を語った。

男副座長(商学部教授)と「現代商品論Ⅰ」の講義を担当した見目洋子商学部教授が修了証書を手渡したII写真。

今年度は高大連携協定校(神奈川県座間総合高校、元石川高校)から2人、専大附属高校、専大松戸高校から3人が「法学の基礎」「商学基礎Ⅰ・Ⅱ」など法、商学部の講義を聴講した。

修了生は全員3年生で、「知らない言葉が多く、正しい知識を身につけようと本を読むようになった」「マーケティングや商品開発が身近になり、専大で学びを深めた」という意欲が高まった。大学の講義を体験した感想や大学生活に向けた意欲を語った。

キャンパス情報

- 車いす体験講座
- ▽日時 2月26日(月) 9時30分～▽場所 神田キャンパス5号館ラーニング・コモンズ▽講師 NPO法人ホープ代表永田潔氏▽定員 20人(先着順)▽参加費 無料
- アイマスク体験講座
- ▽日時 2月26日(月) 13時30分～▽場所 神田キャンパス5号館ラーニング・コモンズ▽講師 NPO法人ホープ代表永田潔氏▽定員 20人(先着順)▽参加費 無料
- ※申し込み・問い合わせはすべて神田学生生活課
- ☎03・32665・682